

1. 「高浜版事業仕分け2011」の平成24年度当初予算への反映結果について

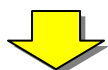
◆仕分け番号 1【事業番号1～7】

仕分けNo.	事業No.	事務事業名	対象項目等	仕分け結果	市の対応方針
1	1	こども発達応援事業	おもちゃと絵本の夢ランドに係る経費	ゼロベースで見直し	ゼロベースで見直した結果【要改善】
	2	子育て・家族支援ネットワーク事業	いちごプラザ運営委託料	要改善	要改善
	3	保育園管理運営事業	子育て支援センターに係る経費	要改善	要改善
	4	保育園管理運営事業	休日保育・一時保育・特定保育に係る経費	要改善	要改善
	5	幼稚園維持管理事業	夏季預かり保育に係る経費	要改善	現行どおり
	6	家庭的保育推進事業	家庭的保育事業費補助金	現行どおり	現行どおり
	7	幼稚園預かり保育事業	預かり保育活動事業費補助金	要改善	現行どおり

《事業仕分け委員会からの提言》

事業番号1～3は、子育て支援施策全体を効果的及び効率的に実施していただくため、子育て支援施策全体の整合性を再度検討いただき、その中の一部として事業番号1～3については、一つの所管グループもしくはしっかりとグループ間で連携いただき、共同での実施を検討していただきたい。

事業番号4～7は、受益者負担の料金設定の考え方について、利用者の納得感はもとより、当該サービスを利用していない市民が見ても説明可能となるよう、実態の把握に努め、引き続き受益者負担のあり方が現状で良いのかという根本の問題について検討をいただきたい。



《結果の反映による影響額》

影響額なし

◆仕分け番号 2【事業番号8～11】

仕分け№	事業№	事務事業名	対象項目等	仕分け結果	市の対応方針
2	8	地域介護予防活動支援事業	事業全体	要改善	要改善
	9	元気高齢者応援事業	いきいき健康マイレージ事業委託料	現行どおり	現行どおり
	10	いきいき広場管理運営事業	マシンスタジオの運営に係る経費	要改善	要改善
	11	健康づくり推進事業	すいすい健康教室に係る経費	不要	不要

《事業仕分け委員会からの提言》

事業番号10のマシンスタジオの運営に係る経費については、一般利用者の利用料金が、利用している人が満足しているか、利用していない市民が納得できる料金体系となっているか、実態をしっかりと把握し検討及び説明ができるようにしていただきたい。

また、健康増進や介護予防に関する事業全体では、事業番号9のいきいき健康マイレージ事業を中核とするなど、従来では点として実施していた各事業を線あるいは面として実施していくとしている。住民の皆さんに「良くなった」と実感していただけるよう事業実施していただきたい。



《結果の反映による影響額》

すいすい健康教室に係る経費（すいすい健康教室一般参加者負担金） → 196千円の削減

◆仕分け番号 3【事業番号12】

仕分け№	事業№	事務事業名	対象項目等	仕分け結果	市の対応方針
3	12	児童センター事業	児童センターの管理方法	ゼロベースで見直し	ゼロベースで見直した結果【要改善】

《事業仕分け委員会からの提言》

今回は、子育て支援事業の象徴的な事業として、児童センター事業を取り上げた。しかし、仕分け後に対応方針として出てきたものは、児童センター事業単体のあり方の検討にとどまっており、仕分けや委員会での指摘を十分に反映したものとは言いがたいものである。

児童センター事業ばかりでなく、子育て支援施策全体を整理し、高浜市の「子育て支援事業の全体像」を住民にわかりやすく伝えることができるようにしていただきたい。そうすることを通じて高浜市で子どもを育てれば、安心してすくすく育てられることを住民が実感できることになる。



《結果の反映による影響額》

影響額なし

(対応方針で記載があるが、事業仕分けがなくても実施していたが、吉浜児童センターを民営化した。)

→ 約2,869千円の一般財源の削減

◆仕分け番号 4【事業番号13】

仕分けNo.	事業No.	事務事業名	対象項目等	仕分け結果	市の対応方針
4	13	こども発達応援事業	キッズウェルネス業務委託料	ゼロベースで見直し	ゼロベースで見直しに向け協議中

《事業仕分け委員会からの提言》

事業の委託先である日本福祉大学と協議中とあるが、今後の検討にあたっては、従来の委託先はじめにありきではなく、より多くの子どもが受講できる等、利用者及び利用者以外の住民のみなさんが納得できる見直しを進めていただきたい。

また、見直しのめどが見えてきた段階で「来年度以降どうするのか」について、住民に報告するようにしていただきたい。



《結果の反映による影響額》

影響額なし

◆仕分け番号 5【事業番号14】

仕分けNo.	事業No.	事務事業名	対象項目等	仕分け結果	市の対応方針
5	14	地域産業振興事業	三州瓦屋根工事奨励補助金	要改善	要改善

《事業仕分け委員会からの提言》

税金を投入し支援している限りは、投入した事業費に相対する効果を市民に説明できることが必要である。今後も、本事業の必要性について、広く、住民の理解が進むよう、努力していただきたい。

そのためにも、三州瓦屋根工事奨励補助を含む地場産業支援全体を効果的かつ効率的を行えるよう官民一体で取り組んでいていただきたい。



《結果の反映による影響額》

影響額なし

◆仕分け番号 6【事業番号15～18】

仕分けNo.	事業No.	事務事業名	対象項目等	仕分け結果	市の対応方針
6	15	基金運用事業	まちづくりパートナーズ基金	現行どおり	現行どおり
	16	子ども医療事業	子ども医療扶助費	現行どおり	現行どおり
	17	市民予算枠事業	市民予算枠事業交付金	要改善	要改善
	18	地域内分権推進事業	地域内分権推進事業交付金	ゼロベースで見直し	ゼロベースで見直した結果【要改善】

《事業仕分け委員会からの提言》

仕分けの議論を踏まえ、事業番号18を市民税の5%枠に入れ、統合するとの対応方針を明らかにした。将来、財源が足りなくなれば、市民税1%分の増枠を予め想定していると聞こえる説明があったのは残念である。あくまでも、仕分けの議論の本質は、厳しい財政事情や増大する子ども医療費といった現状の下、本来、本制度の枠組みとした趣旨を踏まえ、枠にあえてはめることによって、それぞれの担当が知恵を絞り、それ

ぞれの分野でできるだけの対応を重ねるべきということにある。それでも財源が足りない場合には行政および議会との真摯な協議を経て、改めてどうすべきか決断すべきであり、現時点で予め決めるべきことではない。

仕組みとしては極めて優れたものであるため、市民の皆さんと今の仕組みをより高めて行けるようチャレンジしていただきたい。



《結果の反映による影響額》

まちづくりパートナーズ基金への積立を個人市民税の５％（子ども医療費分を除いた分とする。）以内とした。

→ ２４，３６４千円の削減（個人市民税の１％分）

2. 「高浜版事業仕分け2010」の平成24年度当初予算への影響について

昨年度実施した事業仕分けでの議論を踏まえ、平成24年度当初予算に新たに影響を及ぼしたもの

①中小企業支援事業（小規模企業等振興資金預託金）→ 10,000千円の削減

※旧商工業振興資金預託金

②教育活動支援事業（サポートティーチャー賃金）→ 5,515千円の削減